

しゅん功図及び写真作成要領

株式会社ネクスコ東日本エリアトラクト

令和 6 年 6 月

第 1 編 工 事

第 1 章 適 用

1.1.1

適

用

この要領は、株式会社ネクスコ東日本エリアトラクト（以下「エリアトラクト」という。）が発注する工事のしゅん功図、しゅん功写真及び工事写真の作成に適用する。

1.2.1

しゅん功図

第 2 章 しゅん功図

（1）しゅん功図は設計図データを使用し、変更がある場合は、変更図を含み作成する。特に電気・給排水管路は正確に記入し、主要な施工図及び営業者負担関係図も含み作成する。

なお、設計図がない場合は、施工段階で作成した図面等を使用できるものとする。

1.2.2

製

本

（1）白焼図縮小版（A－4）

白焼図黒表紙金文字のうえ二つ折り背張製本とし表紙に記入する事項は下記による。

なお、これによることが不適当な場合は、主任補助監督員の指示により作成する。

1	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>
6	<input type="text"/>

（表 紙）

7

（背表紙）

凡例

- 1 道路名
- 2 工事名
- 3 しゅん功図
- 4 令和 年 月しゅん功
- 5 株式会社ネクスコ東日本エリアトラクト
- 6 請負人
- 7は1～3縦書

（2）縮小版に下請負人通知書、主要資機材発注先通知書を合わせて製本する。

第3章 工事写真

1.3.1

工事写真

工事写真は、下記に基づき作成し原板と共に提出するものとする。

撮影時期	撮影箇所	規格
着工時	敷地全景2方向以上及びエリアトラクトが必要と認め指示した地点	サービス判
工事中	別紙「現地写真撮影箇所」による。	サービス判

1.3.2

撮影方法

被写体に所要事項を注記した黒板を添え又スケールを併用し撮影する。注記は、工事名、日付、工種名称、形状、寸法、その他必要事項を下記により記入する。

(例) 基礎フーチング砕石の場合

工事名	〇〇自動車道〇〇SA(〇り線)〇〇〇〇工事		
棟名	〇〇〇〇〇	日付	令和〇〇年〇〇月〇〇日
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 40%;"> <p>地業工事 X〇通り、Y〇通り F〇 基礎フーチング砕石敷き 厚 150</p> </div> <div style="width: 55%; text-align: center;"> </div> </div>			
施工	〇〇建設株式会社		

1.3.3

製

本

市販品アルバム（ナカバヤシ・コクヨ工事用アルバム程度）を使用し建築（附帯工事を含む）電気、給排水、空調等各工種別に工程順に貼付けるものとする

なお、継ぎ写真を必要とする場合、サービス版によることが不十分と認められる場合は、監督員の指示により作成する。表紙に記入する事項は1. 2. 2 (1) による。また、説明記載を1. 3. 2によれない場合は、紙面余白箇所に記載する。

第4章 しゅん功写真

1.4.1

しゅん功写真

しゅん功写真は下表に基づき作成し、原版と共に提出する。

また、紙面余白箇所には年月日、上下線の別、棟別、室名等必要事項を記入したラベルを貼付ける。

撮影時期	撮影箇所	規格	提出先部数
しゅん功時	建築構造物の外観4面 (別途夜景1面以上) 屋内は工事対象各室及び 主任補助監督員指示箇所	キャビネ判	本社 1部 支店 1部

※ なお改良工事等においては、工事の前後で比較検討できるものとする。

1.4.2

製

本

市販品アルバム(ナカバヤシ・コクヨ工事用アルバム程度)を使用し、原則として黒表紙金文字の上製本ビス止めとし表紙に記入する事項は、1. 2. 2(1)を準用する。

なお、これによることが不適当な場合は、主任補助監督員の指示により作成する。

第5章 提出先部数

1.5.1

提出先部数

(1) 白焼図縮小版	本社	施設課	1部
(黒表紙金文字)	支店	施設課	1部
(2) しゅん功写真	本社	施設課	1部
(黒表紙金文字)	支店	施設課	1部
(3) 工事写真	支店	施設課	1部
(4) 白焼図縮小版	監督員の指示による。		

[別 紙] 現場写真撮影箇所

1 工事初期	着 手 前 建築基準位置決定	着手前の状況 仮B・Mの決定、遺方検査、敷地線の決定、地縄張り
2 仮設工事	仮設の確認	仮囲い、現場事務所等
3 土工事	根 切 検 査 残土処分の確認 割栗石及び砕石 の材質検査	根切基準規定、根切床 移動残土、切土部分、埋戻余盛、突固め状況 張上げ検査、突固め状況
4 杭打工事	打 設 杭 頭 切 断	最終沈下量、打止め確認 杭頭切断位置、杭間ざらい、砂利又は栗石地業
5 鉄筋コンクリート 工事	型 枠 型枠解体時 配 筋 検 査 コンクリート打設	各工程の基準墨、コンクリート打設前の型枠出来 上り状況 型枠存置状況、支柱盛替状況 配筋状況 テストピースの採取、送付承認 コンクリート打込み方法 コンクリート締固め、スランプ、空気量 コンクリートの養生状況 建築電気衛生設備総合検査 (コンクリート打設前)
6 防水工事	アスファルト防水	流し貼、袋貼、アスファルト使用量 貼り仕舞補強等
7 組積工事	遺方（タテヒラ）	目地割、出窓入口枠等の割付墨
8 タイル工事	貼上げ検査	目地引通し、貼面の均一状況、適正役物の使用状況
9 木工事	養生の確認	養生の状況
10 鉄筋工事		建入及び歪の検査 圧接状況検査
11 石工事	据付け施工	裏詰めトロ、緊結方法

12	屋根工事	施 工 確 認	折り曲げ幅、つり子、ハンダ付等の状態
13	建具工事	金属製建具	使用材料（材質、厚み等） 寸法及び矩の検査、組立完了後検査できない箇所 についての防錆処理等の検査
14	塗装工事		素地処理、塗工程の検査と確認状況
15	屋外電気 設備工事		引込柱の建柱状況 幹線の埋設状況（埋設深さ等） 設置工事状況（接地抵抗測定等） ケーブル接続箇所 ハンドホール据付状況
16	屋内電気 設備工事		天井、床、壁、いんぺい部分、電線の接続状況、盤の 据付状況、照明器具の据付状況、ピット内ケーブル の納り状況
17	屋外給排水 ガス設備工事		配管状況（埋設深さ、勾配、塗装等） 排水桝、据付状況（管との取合状況） 量水器、バルブ等取付工事
18	屋内給排水 ガス設備工事		圧力テスト状況、管立上りの状況、管の接続状況 器具取付け状況、配管の保温（外共）
19	空調換気 設備工事		機器据付状況、冷温水管保温状況（いんぺい部、 埋設部、水圧）機器設置状況（天井吊等防振架台、 いんぺい部、ダクト接続状況）
20	給油設備工事		タンク設備状況（埋戻し共） 配管状況（接合部、勾配） 気密テスト、タンク配管等の洗浄状況
21	その他		工事完了後検査できない箇所で重要な部分 特記仕様書で特記のある部分 補助監督員の指示する部分

第 2 編 商業施設保全工事

第 1 章 適 用

2.1.1

適

用

この要領は、エリアトラクトが発注する商業施設保全工事の工事写真の作成に適用する。

第 2 章 工事写真

2.2.1

工 事 写 真

- (1) 請負人は工事段階毎に着手から完成までの施工状況が識別できる写真をカラーで撮影し、支店 施設課に提出しなければならない。
- (2) 工事記録写真は、下表のとおりとし撮影方法は 1. 3. 2 による。
- (3) 工事写真は、下表のとおりとし紙面余白箇所、年月、上下線の別、棟別、箇所名等必要事項を記入する。

(各エリア・建物毎)

撮影時期	リフレッシュ	外部修繕 内部修繕	規格	備考
工事前	・建物外観 4 面 ・屋 根 2 面※	・修理箇所	サービス判	アルバムに 必要事項を 記入する事
工事中	・仮設 ・各作業種別 (1 複層仕上 2 鉄部再塗装等) における作業工程毎に 代表的な箇所を 1 面	・仮設 ・各工程毎の代表的な箇所		工事種別、工 程等を記入 した黒板を 添えること
工事完了時	対象箇所	対象箇所		アルバムに 必要事項を 記入する事

※屋根作業を行う場合のみ撮影する。

第 3 章 提出先部数

2.3.1

提 出 先 部 数

- (1) 工事写真 支店 施設課 1 部

〇〇自動車道

〇〇SA（〇り線）レストラン・給油所新築工事

しゅん功写真

令和〇〇年〇〇月 しゅん功

株式会社ネクスコ東日本エリアトラクト

〇〇建設株式会社

〇り線

正面外観写真

外観〇〇面
令和〇〇年〇〇月〇〇日

第二面以降

<div>外観・室内等写真</div> <div>施設名等必要事項</div>

(改良工事)

表紙 新築と同様

第一面

〇り線	
正面外観写真	着工前
正面外観写真	しゅん功
	外観〇〇面 令和〇〇年〇〇月〇〇

外観・室内等写真	着工前
外観・室内等写真	しゅん功
	施設名等 必要事項